

19 世紀の公共図書館アーカイブスの収集（ロンドン・マンチェスター・ポーツマス）

主要訪問先 The London Library The British Library
 Manchester Central Library Portsmouth Central Library

研修期間 2009 年 2 月 3 日～2 月 17 日 15 日間

研究テーマは「公共圏としての公共図書館」であり、社会学者ユルゲン・ハーバーマスの公共圏の理論と公共図書館の理念の交錯した関係についての研究を行っている。理論だけでなく実証を伴った研究をしており、19 世紀に誕生したイギリスの公共図書館の理念や実態を事例として取り上げ研究に取り組んでいる。今回の研修旅行を通じて、日本では入手不可能な資料の閲覧および収集をすることができた。

訪問先① The London Library

The London Library は 1841 年に作家トマス・カーライルによって創立された会員制図書館である。当時の会員の中には、1850 年の公共図書館法に尽力したウィリアム・エワートなどが会員であった。公共図書館設立の理念の源流がこの図書館の理念にあるのではと考え、創成期に関する資料やカーライルの書簡などを収集した。この図書館は現在も会員制であり、2 F の閲覧室は当時の雰囲気そのまま伝えている。イギリスの上流階級社会を垣間見ることができた。



London Library 外観



2F 閲覧室



古い本が並ぶ書庫

訪問先② The British Library

The British Library、納本制度に基づきイギリス国内の出版物を収集する国立図書館で 1998 年に開館した。



大英図書館正門



吹抜ガラス張りのタワー書庫



図書館内のカフェ

ここでは 19 世紀の公共図書館に関する議会報告書 (*Return of Receipts and Expenditure of each Library established under Free Libraries Acts 1876*) などの資料を入手することができた。これはイギリス 54 都市の公共図書館の蔵書構成や利用者の年齢・性別・職業などが記載された統計資料である。

訪問先③ Manchester Central Library

マンチェスター公共図書館は 1852 年にイギリスで初めて設立された公共図書館である。現在の建物は 1934 年に建設されたものであるが、ローマのパンテオンを模した建築はマンチェスター市のシンボルとなっている。

小説家であり社会改良家の一面を持つチャールズ・ディケンズの開館式スピーチ原稿や 1864 年の蔵書目録や 1895 年発行の図書館史など貴重な資料を入手した。



Manchester Central Library 外観



郷土資料閲覧室



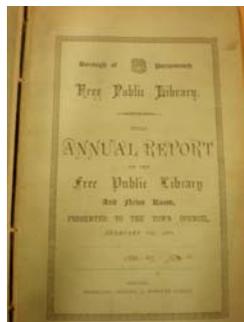
1852 年の開館式の案内状

訪問先④ Manchester Central Library

ポーツマスは 15 世紀に国営の造船所が設立されて以来、軍港および造船で栄えてきた都市である。1885 年開館の Portsmouth Central Library では 1885 年～1904 年のアニュアルレポートを入手することができた。このアニュアルレポートは利用者の職業統計が記載されている。当時は社会階級によって就く職業が区分されており社会階級による利用者分析動向がこの資料にできると考えている。



Portsmouth Central Library



アニュアルレポート表紙



登録者の職業統計



対応していただいた司書の方と

今回の研修旅行は単に資料を収集することができただけでなく、直接現地を訪ねることで文献では得られない街の様子や図書館建築、図書館の雰囲気などを実際に肌で感じるすることができた。これは自分にとって大変貴重な経験である。更なる研究に関する興味を育む大きな刺激となった。